

第2回 難病患者在宅医療支援センター研修会

食事・栄養は生活の基本です。神経難病の摂食・嚥下問題も胃瘻を造れば万事解決というわけではありません。医学的にもまだまだこれからの分野であり、課題も山積みです。一度、私たちと一緒に考えてみませんか。

《テーマ》

神経難病の「嚥む、飲む、食べる」を考える

《内容》

- ・摂食・嚥下のしくみや検査方法
- ・嚥下リハビリテーション
- ・上手な口腔ケアの方法
- ・嚥下食の作り方
- ・薬の飲み方

・患者さんの「食べたい」という思いに対する対応について

《座長》

神経内科

准教授

三井 良之

《演者》

歯科口腔外科

講師

内橋 隆行

栄養部

管理栄養士

渡辺 紗弥佳

リハビリテーション部

理学療法士

齋藤 務

リハビリテーション科

助教

大洞 佳代子

《講演後、質疑応答》



《日時》 平成27年10月24日(土) 14:30～16:30(開場14時)

《場所》 近畿大学医学部附属病院 (大阪狭山市大野東377-2) 円形棟大講堂

《対象者》 難病在宅医療に携わっている医療・介護・福祉関係者

《その他》 当日、可能であれば聴診器を持参下さい。

(嚥下検査の説明で使用致します。)

お車でお越しの方は、当日駐車券を会場までお持ち下さい。

※参加費無料・事前申し込み必要 締切10月9日(金)

所定の申し込み用紙を記載の上FAXにて返信をお願い致します。

申込用紙については、下記問い合わせ先までご連絡をお願い致します。

(お問い合わせ)

近畿大学医学部附属病院 難病患者在宅医療支援センター 中西

電話072-366-0221 内線5621 FAX072-365-7161

